

猫背の犬を見たのだ号

ブル通信

1803

編集発行人 ブル
ブル通信は発行人が
ブルドッグの様な
顔をしているので
ブル通信としました。

ブル通信は
過去に...

ガッツのお車の
ご購入
車検
修理
査定
見積もり
売却

の
どれかをご利用頂いた
お客様に
お送りしています。

味ではない

損得でいちご狩りに挑戦する

場合はこの方法であつたのだ！

うーん、寒い寒いと言っていたらいつの間にかヒタヒタと春の足音が聞こえてくるというような表現がよくあるが、真実は春は別に足音をさせるわけではなくただ暖かくなると言うだけなのであるが、春の簡単に出来てまあ料金もなんとか払えるレジャーと言えはいちご狩りなどが上げられるであろう。

潮干狩りや少し先になるがたけのこ刈りなども考えられるが、潮干狩りは近い人はいいが遠い場合は結構行くのが大変だし、春先はまだ寒い。たけのこ狩りはできる場所に限られていてなかなか、明日はちよつとたけのこ狩りにでもいくかあ！とはなりにくく、また足腰の弱った私としては結構きついのである。いちご狩りなども都市部に住む場合、身近にはないケースもあるが、場所がかなり限られる潮干狩りやたけのこ狩りなどに比較すると行きやすいのではないだろうか？それにたけのこ

はそれほど食べれるものでもないし、やはりいちご狩りは春の安易なレジャーとしては王様ではないかと思うのである。

さて、そこでだ。いちご狩りも春先は結構いい値段がする場合が多く、ファミレスに家族で食事に行くのと値段はさほど変わらないので、いちごをご飯がわりに死ぬほど食って食費2食分を浮かせるにはどうしたらいいのであろうか？というのが本企画である。

そのために今回はうまい、まずいではない。いかにたくさん量を食べていちご狩り経営者の鼻をあかせてやるうと言うのが狙いであるが、個人的にいちご狩り経営者に恨みがあるわけではないので勘違いしないように。さてさて前文が長くなってしまったが、本企画の研究結果を発表させて頂こう。

まず小さい子供を連れていく場合は、イチゴは水分が大変多いために、食べ始めるとトイレに行きたくなる場合が多いのである。特に小さい子供にその傾向が顕著に見られるため、ハウスに入る前にはかならず親子ともどもトイレに行き、イチゴ狩りが始まってからのトイレに行くというタイムロスをまずは防ぐことがポイントになるのである。

2点目のポイントとしてはいくら損得重視であり、味

は2の次と言ってもどうせお金を払うならできることなら味も重視したいのであるがその場合ハウスの入口付近のいちごには手をつけないことがポイントである。なぜなら入口付近は最初にみんな食べ始めるので完熟イチゴは少なく、探しているとタイムロスに繋がります。進むので、まずはハウスの最も奥まで躊躇なく進み奥から入口方向に向かうというのがイチゴ狩りのプロなのである。

さらにイチゴ狩りで失敗する人の特徴としては、同じものを食べて飽きるという感情が見られるのである。これを分析して見るとイチゴは甘いため飽きがくるのであるが、これはイチゴを先端から食べるというイチゴ狩りのプロにあるまじき行為が原因であることがほとんどであり、プロはヘタを取ってヘタの方から食べると酸っぱいため甘さだけで飽きが来ることを避けることができるのであった。さらに練乳は非常に問題である。あれはイチゴ農家の策略ではないかと思うのであるが、練乳は確かにうまいが甘さが残り、イチゴを食べる代わりにするという目的の場合、飽きが来る最大の敵であるからギリギリまで練乳は我慢するのがプロというものである。

そして最終兵器としての裏技を公開しよう。

やはり「ビールとイチゴは冷やして楽しめ」と孔子も言っているように（本当は言っていない）冷えた方が量は食べれるのであるが、ハウスの中はかなり暖かくこれが大敵となっているわけだが、少しでも冷えたイチゴは実は株の奥のほうの隠れた涼しい所にあるのでここを狙って食すのがイチゴ狩りのプロというものである。どうであろうか？ご理解いただけたであろうか？これであなかも明日よりいちご狩りのプロになれるのであるが、素朴な疑問としてイチゴ狩りにプロとアマチュアとがあるのでしょうか？

春、これだけは確実に やったほうがいい車の手入れ

まあ今シーズン、地方にもありますけど雪多かったですよね。

で、冬の間、撒かれていた融雪剤、俗にいうエンカルつて奴ですよ。昔に比べると車自体の塗装の状態がよくなっているんでそれほど気にすることないよっていう人もいますけど、確かに昔よりサビの影響は出にくくなっています。ただしそれって前提として下回りが石をはねたりして傷がついていないことが大前提なんです。シヤシブラって言われるような錆止め塗装なんかもちよつとした点検とか車検のときにやるところが多いから以前よりはサビの影響は気にしなくてもよくなっているのは事実なんですけど、ボディなんかでもちよつとした飛び石なんかでちよこんと小さいサビが出てくるの見たことありますよね？あれがボディの下は見えないからわかりにくいだけで、飛び石が最もあるのはボディではなくてボディの下なんです。走っていてカタンとかカランって音聞いたことない方はいらつしやらないと思います。その都度、ボディの下に塗装が剥がれていってしまうって頂いて構いません。融雪剤を撒く地域であればそこに確実に融雪剤が入り込むわけ、要するに塩です。腐食はかなり進みます。

ほら、車って高い買い物で錆びたからカンタンに買い換えるわけにいかないじゃないですか。洗車場に置いてあるようなスプレーガンでも構わないので1コインといわずコイン2枚分くらいはしっかりと下回り洗浄をしたほうがいいですよ。サビ、本当に進むとものすごい換えるくらいしか手がなくなる場合が多いんですよ。これだけはしっかりとやってくださいね。